

サウンドバーガー買ったよ！

大興商事株式会社
岩本 眞吾

オーディオテクニカは一昨年創立60周年限定モデルをいくつか発売しましたが、またたく間に売り切れとなったのがサウンドバーガー。約40年ほど前に商品化された変わり種製品のリニューアルモデルです。

数量限定品のため買えなかった人が多かったのか、はたまた昨今のレコードブームのなせる業か、5月下旬に通常商品として発売されたのがサウンドバーガー(AT-SB727 23,980円)。私が購入したのもこちらの機種です。40年前と定価はほとんど変わりませんが、今はほぼ定価販売です。

ネーミングの由来はレコードをハンバーガーのように挟んで再生するため。百聞は一見に如かず、写真をご覧ください。初代モデルとの主な違いは、リチウムイオン電池搭載で充電ができる、Bluetooth搭載、ヘッドフォンのボリューム調整が出来ず且つ音量が小さい、など。

購入意欲をそそられたのは茶の間にあるサブシステムで気軽にレコードが楽しめるから。ちゃんとした機器は妻との力関係で間仕切りもエアコンもないスペースにあり、そんな場所でレコードなど聴く気になれないから。

オーディオ製品、というよりはラジカセの様な製品ではあるが、音は如何なものか。CDと聴き比べをしてみました。

- 1 ストラヴィンスキー/火の鳥 コリンデイヴィス指揮
レコードの帯には「音が立って聴こえる」とある。'78の録音。
CDでは録音時のスタジオのノイズか、ざわざわした音が聞こえる。
レコードはこれがなく、少しこもった感じ。
- 2 大瀧詠一/A LONG VACATION 録音にこだわったミュージシャン。
CDのほうが高音域のぬけが良い。
- 3 片平なぎさ/純愛 '74年ころ、14歳の時の録音か。私と同年である。
双方ともあまり変わらない印象。レコードジャケットに見入っているうちに終わってしまった。

なにぶん水準器を使ったりすることなく、そこらへん、畳の上とかテーブルの上に置いて聴くことを考えたらお手軽で素晴らしい品です。

というわけで猛暑も手伝い、休日は久々にレコード三昧の日々を楽しんでおります。

初めてレコードプレーヤーを購入予定の方、はたまた私のように押し入れの奥からレコードを引っ張り出して聴きたくなった方、お勧めです。

